



世界に希望を生み出そう

2023-2024年度
和歌山東ロータリー
のテーマ

伝統を踏襲し、 更なるステップアップへ!

2024年5月30日(木)

週報 / VOL.65 No.40
(通巻3044)

2023-2024年度 国際ロータリーのテーマ

CREATE HOPE in the WORLD

国際ロータリー第2640地区

和歌山東ロータリークラブ

URL: <http://www.werc.jp> E-mail: info@werc.jp

会長報告

佐藤 義記 会長



皆さん、こんにちは。

気温も随分暖かくなりました。皆様お身体には充分お気を付けてください。

来週の例会は休会となり、24日から数名にて世界大会のシンガポールに行ってきます。また、ご報告させていただきます。

本日の卓話講師は、和歌山大学 学環長 竹内哲治様にお越しいただきました。お忙しい中ありがとうございます。

さて本日5月16日は「旅の日」となります。1689年江戸時代前期の俳人・松尾芭蕉が江戸を立ち、「おくのほそ道」へ旅立ったことを記念するとともに、旅の心や旅人とは何かという思索をあらためて問いかけたいと、日本旅のペンクラブが1988年(昭和63年)に制定されました。俳人松尾芭蕉が江戸から東北、北陸を経て岐阜の大垣までを巡った紀行文であり、作品中に多数の俳句が読み込まれています。旅費のため自分の家売って費用を捻出したそうで、出発時は45歳だったそうです。また徒歩による移動距離は、600里(約2400キロメートル)で、かかった日数は150日間におよんだそうです。この旅から帰った5年後に死去され、「おくのほそ道」は芭蕉死後の1702年に出版されたそうです。

本日もよろしくお願ひいたします。

幹事報告

北浦 康臣 幹事



・米山記念奨学会より「第44回米山功労クラブ」の感謝状が届いております。



お誕生日お祝い

細川 竜二さん(60才) 吉増 亨さん(53才)
吉村 享さん(52才) 柘岡 一樹さん(48才)

おめでとうございます



卓話「社会変革をもたらす文理融合のDX人材育成-和歌山大学の取り組みとフィンテックの事例から」

和歌山大学社会インフォマティクス学環 学環長 竹内 哲治 さん



データを利活用できかつ文理融合型の人材育成のための和歌山大学第5の教育課程である社会インフォマティクス学環を令和5年に設立しました。未来を切り拓き創ることを目的としたこの教育組織の社会インフォマティクス学環というユニークな名前は、少し呼びづらいですが、命名には壮大な思いが込められています。コンピュータサイエンスでもなく、データサイエンスでもないのは、それらを包括した社会科学と情報科学の融合から絞り出した名前です。なぜ、このような教育課程を作ったのか?どのような社会的要請があるのか、どのように地域や経済に還元して行けるのか、時代の背景と潮流に触れ、続けて学環の概要と特徴を紹介します。

DX (Digital Transformation: デジタルによる変革) は我々の生

活にどのような変化をもたらすのでしょうか?DXを達成するには3つの段階があると言われてます。まるで、ホップ・ステップ・ジャンプといった3段飛びです。第一段階のデジタルイゼーションは、データ化やデジタル化といった、紙の文書をデータベースや電子ファイルにするといった内容です。これは時間とコストがかかり、例えば人件費が増しますが、収益はゼロです。第二段階のデジタルイゼーションは第一段階のデータを最適化や効率化のために用いて生産性の向上が見込めます。ここでは経費の削減が見込めますが、これによる収益もゼロに等しいです。この段階は、たいした収益が見込めないことと経費増を考えると、器用な日本人はデジタル化をしないでも既存の設備を使いこなしアナログで行って作業を進める方が早いということもあり、その結果我が国ではデジタル化が進まないという指摘があります。第三段階は、第二段階までのデータ分析や

① 真実かどうか

② みんなに公平か

③ 好意と友情を深めるか

④ みんなのためになるかどうか

“新しい何か”と組み合わせることで変革を起こすデジタルトランスフォーメーションです。“新しい何か”,つまりアイデアは企画できる人材の育成やリクルート,外注やコンサルティングファームなどから生まれるものの,時として開発費がかかり,収益も未知数です。経営者にとっては意思決定で二の足を踏むこととなります。

しかしながら,企業,産業,行政,社会まで昨今はDXに取り組むようになり,環境の激化とデジタル技術は,①ニーズをもとに,製品・サービスやビジネスモデル,②業務そのものや,組織,人事,事務プロセス,企業カルチャーへ変革をもたらしています。①はマーケティングに係わることで,製品管理のためのDXが,部品供給の販売促進や自動制御のDXへ展開し,コスト削減と定期的収益へと結びつき,ひいては顧客満足を引き上げるといふ恩恵をもたらすことが一例として報告されています。②はマネジメントに係わることで,いわゆる企業資源計画ですが,調達・生産・流通から会計・人事・企業統治といった企業のバリューチェーンに結び付くことでDX化による改善が報告し始められています。このように,多様な局面でDXによる成果が実って来ています。

さて,金融界やフィンテックはどうでしょう?金融界ははやくから大型汎用電算機をもちいたビジネスを行って来ました。逆に,複雑で多様なレガシーシステムを抱えていたため統合や刷新においては幾度もシステム障害を経験しています。その中でも金融界ではフィンテックという名のDXが早くから注目され取り入れられてきました。2018年には“みずほショック”という5分の一の店舗閉鎖,4分の一の人員削減の方向というショッキングなニュースが新聞を賑わしました。全米商業銀行では2010年には始まっており,解体・再編・強化・ビジネスモデルの変革がフィンテックというDXを推し進めるようになっていました。そこで分かったことは,デジタルネイティブ(インターネットやデジタル機器がある環境で生まれ育った世代)は当然のことながらデジタルセントリック(デジタルやデータ中心)であり,デジタルの環境でサービスを提供すると解約率が低く,ロイヤリティが高く,手間いらずな顧客であるということです。顧客管理の費用が抑えられることは,マーケットをいち早く抑えることが企業

の維持発展に結びつくことを意味します。

そこで,社会インフォマティクス学環は,学内連携として経済学部・システム工学部・観光学部・データインテリジェンス教育研究部門の4つの部門が連携し,文理融合のDX人材の育成に取り組むこととしています。また,外部連携として,自治体や企業と連携した学外での演習を行うことで,社会課題に取り組み大学内では教育の難しいビジネスサイエンス力や企画力・実践力・発信力を学生は修得することを目指します。さらに,国内のデータサイエンス系教育を進める他大学とも連携して学生を養っていきます。このように,本学でのDX人材はデータサイエンスやAIなどの理系の知識や技術を用いて社会問題を解決し社会変革をもたらす文理融合型の人材です。社会問題を考えるには経済学・経営学・観光学といった文系の知識や理論を理解していることが求められます。そこで,伝統ある経済学部や国立大学唯一の観光学部の知をシステム工学部の科学や技術を融合させたユニークな教育課程を目指します。

知識は,どこで,どのように使われるかをイメージできないと智として定着しません。そこで学環では理系科目で技術を学び,次に文系科目を学ぶことで,その技術がどこで使えるか認識してもらいます。さらに,文系科目で社会問題や理論を理解し,どのような技術が必要か理系科目で新しく最適な技術の探究することで知識を定着させ未来を創る智としなければなりません。このように各知識を順次定着させ固定して行く仕組みをくさび型構造教育と学環では呼んでいます。学環では経済学部や観光学部のイイトコドリをしていき,システム工学部やデータインテリジェンス教育研究部門と掛け合わせて知識の融合を図ります。

さらに,学環では1年生はオープンカンパニー型の研修に参加し,2年生は民間企業数社や和歌山県・和歌山市・白浜町などの自治体での就業体験を含むキャリア教育型の研修へ参加します。3・4年生はインターンシップや学生も参加した共同研究を予定しています。このように外部連携も揃え,順次拡大していきます。これは地域や皆様のお力添えが無ければ達成できないことです。どうぞ今後ともご指導ご鞭撻のほど,記してお願ひ申し上げます。

ここにこ箱

玉置 博康さん 妻に素敵なお花をありがとうございます。
 山本 進三さん 竹内先生,本日は卓話よろしくお願ひします。
 檜畑 友洋さん 竹内先生,本日の卓話よろしくお願ひいたします。
 片岡 聖佳さん 和歌山大学竹内哲治様本日はありがとうございます。
 山崎 肇さん 妻に当店のキレイなお花ありがとうございます。(笑)
 角野 寛典さん よろしくお願ひ致します。
 釣谷 泰介さん 竹内先生,本日の卓話よろしくお願ひ致します。
 八幡 浩充さん 本日ソングがんばります。
 吉村 亨さん 4月の誕生日ありがとうございます。

佐藤 義記さん 和歌山大学学環長竹内哲治様お忙しい中ありがとうございます。
 北浦 康臣さん 竹内学環長様本日は卓話宜しくお願ひします。
 栗本 信行さん 竹内様本日お越しいただきありがとうございます。本日第39回例会宜しく御願ひ致します。

(お誕生日お祝い)
 細川 竜二さん お誕生日お祝いありがとうございます。
 吉増 亨さん 53才をむかえました。ありがとうございます。
 柘岡 一樹さん 年男です。諸先輩方を目指してがんばります。

本日の累計…55,000円(計15名15件) (お誕生日お祝い…410,000円 奥様花お礼…143,000円 皆出席表彰…60,000円 その他…1,337,000円 累計…1,950,000円)

ありがとうございました

本日の例会

5月30日(木)

■クラブフォーラム「地区協議会の報告」

■ピアノ演奏

中井 利枝さん

ボクたちのテーブル(三枝 成章)
 夢のおかえし(三枝 成章)

次回の例会

6月6日(木)

■クラブフォーラム「ロータリー情報・規定」

前回の例会

5月16日(木)

■卓話「社会変革をもたらす文理融合のDX人材育成 -和歌山大学の取り組みとフィンテックの事例から」 和歌山大学社会インフォマティクス学環 学環長 竹内 哲治さん

■ロータリーソング 八幡 浩充 ソング副委員長 「和歌山県民歌」「四つのテスト」

メーキャップ

(敬称略)

5月21日(火) 和歌山R.C.

山本 進三

出席報告

会員数 51名(内出席規定適用免除会員8名)
 八幡 浩充 出席副委員長

5月16日(本日)

32名/45名

71.1%

皆さん、出席してください。